SANJO 会報

A booklet about the events in Sanjo.

10 2026

三条商工会議所会報
VOL.886
10/25号
毎月25日配信

三条商工会議所が発行する、ビジネス情報誌



建物づくりは、まちづくり。

株式会社ディ・アンド・ファイブ
代表取締役 髙橋 達也 氏

02..... フードロス削減啓発事業「渡貫氏講演会」
熊本地震義援金寄付
03..... 石垣ずいそう
新入会員交流会
04..... 若手仕事人図鑑
06..... 青年部だより
わくわく建設フェスタ
07..... 労働局からのお知らせ
社会保険協会からのお知らせ
08..... LOBO調査

SANJO CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY
三条商工会議所

【飲食・サービス業部会】極限の南極から学ぶ食品ロス削減の知恵

元南極観測隊調理隊員・渡貫淳子氏が講演

当所飲食・サービス業部会は９月15日、三条ロイヤルホテルで、元南極地域観測隊調理隊員の渡貫淳子氏を講師に迎え、「フードロス削減への取り組み」をテーマとしたセミナーを開催した。当日は部会員を中心に27社32名が参加し、環境配慮と飲食・サービス業におけるコスト削減・経営改善を両立させる実践的な知恵に熱心に耳を傾けた。

渡貫氏は冒頭、地球上で最も空気が汚染されていない南極の環境と観測の意義に触れ、普段意識せずに自動車に乗り、食事をする日常生活がいかに地球へ負荷をかけているかを指摘した。その上で、第57次南極地域観測隊の調理隊員として過ごした生活の実情を紹介。隊員のストレス緩和のため日本での日常生活と変わらない食事が提供されたものの、食材の補給は年に1回に限られるなど厳しい制約下にあったと明かした。例えば、生野菜は大変貴重で、長持ちさせるため切り口に石灰を塗ったキャベツを7カ月間利用し、水耕栽培、冷凍野菜も活用した。また、季節の移ろいを感じられない過酷な環境だからこそ、おせち料理や餅、流しそうめんといった行事食を提供し、お腹だけでなく「心を満たすこと」を重視したエピソードを語った。

南極観測隊の生活では、造水トラブルによる水不足のリスクに加え、発生したごみは原則すべて日本へ持ち帰る。汁物の残りもシンクには流せず、乾燥・焼却して灰をドラム缶に詰めて持ち帰る必要があるため、処理担当者の負担を軽減しようと、残った料理をリメイクする調理を徹底したと説明した。その中で生まれたのが、「悪魔のおにぎり」。調理で余った天かす、甘辛いタレ、あおさのりを混ぜて夜食に提供したところ、隊員の間で評判となり、メディアでの紹介を経て大手コンビニで商品化、発売１カ月で500万個を売り上げる大ヒットとなり、売上の一部が南極観測へ寄付されたという秘話を披露した。



講演の後半では、日常や店舗で実践できる食品ロス削減策を提案。家庭から出る食品ロスの大半が直接廃棄（43%）や食べ残し（41%）である現状を踏まえ、消費期限と賞味期限の正しい理解やフードドライブの活用、野菜の皮・根・芯の利用を促した。また、地産地消による流通負荷の低減、摘果リンゴや栗など未利用食材のアップサイクル、宴会時の「3010運動」、テイクアウトの推進など、具体的な取り組みを呼びかけた。

会場では南極の氷を使った流しそうめんやオーロラなどの貴重な写真・映像も上映され、参加者は食材を大切に使う意識と食のありがたさを再認識した。

会頭杯ゴルフ大会21万円余 青年部カジレンジャー募金12万円余

令和8年熊本地震義援金

当所第43回会頭杯ゴルフ大会実行委員会は９月18日に21万4,357円、同じく青年部は９月29日 に12万18円 を令和８年熊本地震義援金として、三条市を通じて日本赤十字社に寄付した。



第43回会頭杯ゴルフ大会は９月12日に下田城カントリークラブで開催され、同日に開かれた表彰式・パーティー会場に募金箱を設置。参加者から義援金を募った。

青年部では災害発生時に、ご当地ヒーロー・カジレンジャーの名を冠した「カジレンジャー募金」を行っており、今回は市内21店舗に特製の募金箱を設置して８月３日から31日まで募金活動を実施した。

９月18日には、会頭杯ゴルフ大会の大会会長の兼古耕一会頭、同じく実行委員長の白倉徳幸副会頭が、29日には青年部の本間隼人会長、柳取大輔副会長、カジレンジャー募金を担当する魅力発信員会の安田吉史委員長に加え、カジレンジャーの２人が三条市役所を訪れて、それぞれ滝沢亮市長に目録を手渡した。

石垣ずいそう

「人が人を誘う夜を、もう一度」



（株）横山酒店
三条商工会議所青年部 まちの活性化委員長
横山 裕久

かつて本寺小路は、先輩や上司に「連れられて」初めて暖簾をくぐり、お酒の呑み方や大人の社交を肌で教わる場所でした。しかし時代の変化とともに、そうした「人が人を誘う」きっかけは少しずつ薄れつつあります。

「本寺小路」という社交の場、地域資源を次代へ繋ぎ、若手社員や初めての方にもその魅力を知ってほしい。そんな思いから、当委員会では毎月第１金曜日を「ホンジの日」と制定いたしました。

11月６日には第１回実証イベント「連れられホンジ」を開催します。三条別院での鏡開きを合図に、夜の街へと繰り出します。肩肘張らずに食事を囲み、言葉を交わす時間は、社内の絆を深めるだけでなく、新たな店や人との出会いを生み出します。

企業の皆様、ぜひ職場の仲間や後輩を誘って本寺小路へお越しください。「連れて、連れられて」広がる笑顔が、街の明日を照らします。

20社22名が参加、連携強化へ

新入会員交流会

当所は９月25日、ピアザデッレグラツィエで「2026年度新入会員交流会」を開催した。入会後概ね５年以内の会員事業所に商工会議所の事業活動や存在意義への理解を深めてもらうとともに、役員との懇談や参加各社の自社PR、会員同士のネットワークづくりを目的に毎年実施している。当日は新入会員20社22名をはじめ、兼古耕一会頭ら正副会頭、専務理事、総務委員、アクサ生命保険、事務局職員など計39名が出席した。



第１部の歓迎セレモニーでは、冒頭に兼古会頭と斎藤直人総務委員長が歓迎の挨拶を述べた。続いて正副会頭、専務理事、総務委員、事務局職員の紹介が行われた後、出席した新入会員事業所が、自社の強みや事業内容、商工会議所の利用経験などを紹介する自社PRを行った。また、事務局からは商工会議所の歴史や存在意義、経営支援をはじめとする各種事業やサポート策についての説明が行われ、自社の経営力強化や課題解決に向けた積極的な事業利用を呼び掛けた。

第２部「交流懇親会」では、終始和やかな雰囲気の中で活発な交流が展開された。新入会員らは正副会頭や総務委員をはじめとする役職員と親睦を深めたほか、新入会員同士でも熱心に名刺交換や情報交換を行い、業種を越えた新たなつながりを築いていた。



未来を創る、若手仕事人図鑑 INTERVIEW 105

建物づくりは“まちづくり”



土地探し、設計、インテリア、施工管理まで一貫して手掛けるデザイン設計事務所。設立当初は飲食店の内装を中心に、アパレル店舗や美容室、歯科医院など高いデザイン性を求められる建築物を多数手掛けてきた。近年ではクリニックなどの医療系建築に加え、オフィス、オープンファクトリー、ファクトリーショップなど、燕三条地域の産業や観光に寄与する建築物も数多く手掛けている。

髙橋社長は「建物の意匠性だけでなく、ご依頼いただく事業所の生産性や従業員満足度、採用力向上に寄与すること、そしてまちに必要とされるデザインとなることを目標にしています」と語る。その根底にある思いについて「私どもの事業は、地場産業が潤ってこそ仕事をいただける、いわば川下の事業。人口減少社会の中で燕三条地域の地場産業が生き残っていくためには、『産業観光都市』の実現を避けて通ることはできません」と、危機感にも近い情熱をのぞかせる。

「建物をつくることは、まちづくりだと考えています。だからこそ、お客様やそのご家族、社員、協力業者の皆さん、そして燕三条地域全体が良くなるような仕事をしていきたい」と語る髙橋社長。事業活動にとどまらず、燕三条工場の祭典実行委員会や当所産業観光委員、当所青年部燕三条プロモーション委員長としても地域のまちづくりに貢献している。



青年部で仕掛けたオリジナル産業観光手帳「燕三条 Makers Journey」は、旅行者自身が訪れた場所、出会った人、心に残った言葉や景色などを書き込み、世界に一冊だけの「産業探訪記」をつくり上げていく記録型手帳だ。10月初旬の「燕三条工場の祭典」来場者からも高い評価を得ており、さらなる進化版の構想も練られている。



GOD FOR ALL — 地域の産業を下支えする

村上市出身の髙橋社長は、新潟市内の専門学校、東京都内の不動産会社勤務を経て、大手ハウスメーカーに勤務。義父である先代からの誘いを受ける形で2016年に入社し、2025年に代表取締役に就任した。





近年は事業を通じたまちづくりと同時に「燕三条地域の産業を下支えする」という思いを強くしている。



工場やオフィスの新築・改装を手掛ける中で、「建物の費用対効果は数字で表しにくいものですが、弊社でお手伝いした建物が『働く人のモチベーションや採用力向上につながった』という評価をいただくことがあります。交流人口の増加なくして定住人口や就業人口の獲得はないと考えていますので、この地域が成熟した産業観光都市となるためのお手伝いを事業として続けていきたい」と展望する。

今後の目標は、オーベルジュ（宿泊施設を備えたレストラン）を手掛けること。オーベルジュが必要とされる産業観光都市の実現、そしてイベント開催時期だけでなく日常的に観光客の姿が見られる「361日（燕三条工場の祭典開催の４日間以外の日常）」を目指し、「40代を全速力で駆け抜けていきます」と力強く語った。



株式会社ディ・アンド・ファイブ
代表取締役
髙橋 達也氏

〈所在地〉
三条市須頃2-79
TEL：0256-34-3141
FAX：0256-34-3533
https://www.da5.co.jp/

青年部だより

毎月第１金曜日は「ホンジの日」本寺小路の魅力伝える

当所青年部は三条市の中心市街地・本寺小路（ほんじこうじ）を舞台とした地域資源活用事業「ホンジの日～連れて、連れられて、本寺小路。～」を実施する。毎月第１金曜日を「ホンジの日」と定め、街を知る人が、まだ知らない人を誘う機会をつくり、本寺小路の新たなにぎわい創出と継続的な来店につなげたい考え。

本間会長は10月16日に開催した記者会見で、「本寺小路はかつて、上司や先輩に連れられて街を知り、大人の社交を学ぶ場所だった。近年そうした機会が減っている中、若い世代が街を訪れるきっかけをつくりたい。毎月第１金曜日を『ホンジの日』として定着させ、人が人を誘う温かな文化と本寺小路のにぎわいを取り戻したい」と事業の目的を説明した。

■「人が人を誘う」街の文化を次世代へ

事業を主管するまちの活性化委員会では、街を知る人からの声掛けをきっかけに、初めてでも安心して入店できる仕掛けとして、11月６日（金）に実証イベント「連れられホンジ」や、12月４日（金）にもスナック体験イベントを予定している。料金や雰囲気への不安を和らげ、一度の体験を次への来店や別の誰かを誘う好循環へと発展させることを目指す。



また、「ホンジの日」の毎月第１金曜日には、協力店舗の店頭に共通のフラッグやのぼりを掲出。SNSなどを通じて各店舗の料金設定や店内の雰囲気、利用方法などの情報を発信し、初心者が利用しやすい環境を整える。

第１回実証イベント「連れられホンジ」では、11月６日午後６時から三条別院境内で、開会の鏡開きを実施。午後６時30分からは、参加者が割り当てられた飲食店へ繰り出す予定。参加費は１人5,000円（料理・飲み放題込み）で、２名以上のグループで申し込む。利用店舗は主催者が無作為に割り当てるため、思いがけない名店との出会いも魅力だ。締め切りは10月30日（金）。

【建設部会】体験通じ建設業の魅力を発信

わくわく建設フェスタ

当所建設部会は９月26日、三条市水防学習館駐車場およびミズベリング三条で「わくわく建設フェスタ」を開催した。三条市主催の「さんじょう消防・防災フェスタ2026」に合わせて共催事業として実施したもので、次代を担う子どもたちや家族連れに向けて、地域インフラを支える建設業の魅力とものづくりの楽しさを広く発信することが目的。



会場では、三条市建設業協会による「ショベルカー体験」をはじめ、三条加茂電気工事協同組合の「光るインパクトボール工作体験」、三条管工事業協同組合による「塩ビ管で作る水鉄砲・バルブ操作ゲームに挑戦」、三条造園建設業協会の自然素材を活用した「流木ストーンアート」など各業種組合の特色を生かした体験ブースが並んだ。



訪れた親子連れらは、普段なかなか触れる機会のない重機の操縦や専門技術に触れる工作を通じて建設業への親しみと関心を高め、地域の暮らしや安全・安心を守る業界の重要性とやりがいを次世代へ直接伝える有意義な催しとなった。

一人でも雇ったら、労働保険に必ず加入を

～労働保険 はたらく安心、つなぐ安心。～

労働者（パート、アルバイト等を含む）を１人でも雇っている事業主は労働保険（労災保険・雇用保険）に加入しなければなりません。

労働保険は、労災保険・雇用保険の各種給付金のほか、雇用の安定のために事業主に支給される助成金などの各種支援制度も設けられており、労働者はもとより事業主のためにも欠くことのできない制度です。

また、人手不足の折、事業主にはコンプライアンスが求められており、より良い人材を確保する意味でも、労働保険に必ず加入している必要があります。

まだ、労働保険の加入手続きを行っていない事業主におかれましては、管轄の労働基準監督署または公共職業安定所（ハロワーク）で成立手続きをとられるようお願いします。

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

問合先
新潟労働局総務部 労働保険徴収課
（TEL025-288-3502）又は、
お近くの労働基準監督署・ハローワーク

社会保険事務講習会11月開催のご案内

厚生年金保険の年金給付（老齢年金）と雇用保険の事務手続きについて、ご説明いたします。

どなたでもご参加いただける参加費不要の講習会です。

申込方法等、詳しくは一般財団法人新潟県社会保険協会のホームページをご覧ください。

URL：https://shaho-niigata.or.jp/
お問い合わせ先：TEL 025-240-5337

講習内容
○年金給付について（老齢年金）
・講師／日本年金機構年金事務所職員
○適用事業所の事務手続について（資格取得届、資格喪失届、離職票の記載方法、その他）
・講師／公共職業安定所職員

＊開催時間／各会場とも午後１時30分から午後４時00分まで（予定）

開催日	会　場	定　員
11月４日（水）	三条商工会議所（第１・２研修室）	48名
11月９日（月）	長岡市立劇場（大会議室）	56名
11月19日（木）	新潟産業振興センター（大会議室）	80名

9月LOBO調査（商工会議所早期景気観測）

調査期間:令和8年9月10日～16日
調査対象:全国の321商工会議所が2,388企業にヒアリング

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。
DI＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
業況・採算：（好転）－（悪化）
売上：（増加）－（減少）

業況DIは、相次ぐ値上げに天候不順が響きほぼ横ばい
先行きは、行楽需要が追い風となり、明るい兆し

全産業合計の業況DIは、▲20.7（前月比▲0.5ポイント）

製造業では、AI・半導体関連の引き合い増加や一部での価格転嫁の進展等により、改善した。一方で、建設業では各種コストの高止まりや人手不足の影響などを受け、悪化した。

小売・サービス業では、物価高に伴う節約志向の高まりから消費意欲に弱さが見られたことに加え、天候不順による客数の減少も重なり、悪化した。

値上げの長期化に伴い消費マインドの弱さが続く中、飲食店からは、来年4月以降の飲食料品の消費税減税に伴う来店客数の減少を懸念する声も聞かれている。

先行き見通しDIは、▲17.3（今月比+3.4ポイント）

先行きについては、金利上昇や長期化する円安・物価高に伴うコスト増加が重荷となっている。十分な価格転嫁が進まないことも懸念材料であり、先行き不透明感が拭えない。

一方で、高水準での賃上げに伴う実質賃金の増加に加え、気温の低下に伴う秋の行楽シーズンの到来などが、消費マインドの底上げに寄与することが期待される。

９月全産業ＤＩの推移

		全業種	建　設	製　造	卸　売	小　売	サービス
全国	9月の業況（前年同月比）	▲20.7 →	▲17.4 →	▲14.8 ↗	▲26.7 →	▲27.7 →	▲20.6 →
	先行き見通し（3ケ月先の見通し）	▲17.3	▲15.3	▲15.4	▲22.6	▲22.7	▲14.3
北陸信越	9月の業況（前年同月比）	▲21.0 →	▲20.6 ↗	▲23.8 →	▲33.3 ↗	▲10.3 →	▲20.8 →
	先行き見通し（3ケ月先の見通し）	▲18.8	▲26.5	▲23.8	▲22.2	▲13.8	▲11.3

※→は8月の業況DIとの比較。　±5未満は横ばい（→）、±5以上15未満（↗↘）、±15以上（↑↓）

令和8年 11月 三条商工会議所専門家相談日

秘密を厳守しておりますのでお気軽にご相談ください！

ご相談無料

相談時間:10:00～12:00 ※一部時間が異なります。
会　　場:三条商工会議所3F相談室
（資金繰り相談のみ2F日本政策金融公庫三条支店）

- 税理士による税務・消費税対策相談　9（月）
- M&A相談　11（水）
- 弁護士による法律相談　18（水）
- 社労士による労務相談
- 行政書士による行政書士相談
- 随時お受けしております
- 事業承継相談　18（水）
- 貿易相談
- BCP相談
- 随時お受けしております
- 知的財産権相談　12（木）と27（金）
- ※13:00～16:00
- 日本政策金融公庫による資金繰り相談
- 随時お受けしております

TEL 0256-32-1311
まずはお電話にてお申し込みください。

※「税務・消費税対策相談」「法律相談」「事業承継相談」「M&A相談」「知的財産権相談」は相談日の**7日前迄**に予約が無い場合は中止となります。（予約締切日が休日の場合は、その前日迄にご予約ください。）

発行所:三条商工会議所（三条市須頃1-20）
TEL.（0256）32-1311 / FAX.（0256）32-1310 / E-mail info@sanjo-cci.or.jp / https://www.sanjo-cci.or.jp /